

単収 200kg/10a 以上、大粒比率向上に向けて

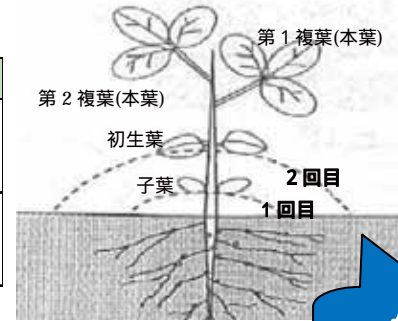
「確実な培土」と「溝の連結」で、初期生育の確保を！  
培土後、発生している雑草の種類を確認し、除草剤を適切に使用しましょう。

## 培土

1回目は遅れずに、  
2回目は確実に、晴れ間を  
逃さず実施しましょう。

表1 培土の時期と高さ（右図参照）

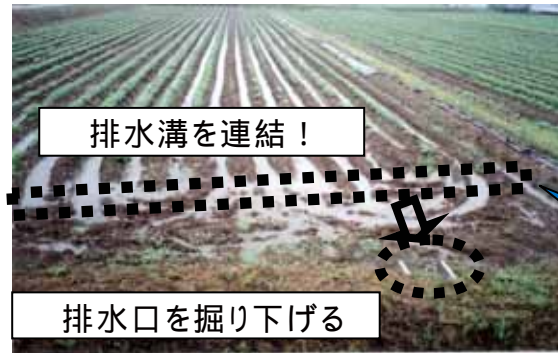
	時期	高さ
1回目	本葉2～3葉期 (播種後20～25日頃)	子葉が埋まる程度
2回目	本葉4～5葉期 (播種後30～35日頃)	初生葉が埋まる程度



株元まで  
しっかりかける

### 【培土作業のポイント】

作業の前に培土板の調節や耕うん爪を点検し、すり減った爪は交換しましょう。乾いたほ場から作業を行い、株元までしっかり土を寄せましょう。培土でできた溝は額縁排水溝や排水口にしっかり連結し、排水が速やかに行えるようにしましょう（右図参照）。



その日のうちに溝をつながないと、  
培土した意味がない...

## 雑草防除

雑草の種類を確認し、雑草に薬剤がしっかりかかるように散布しましょう。 周辺の作物に飛散しない様注意！

表2 草種別除草剤

対象雑草名	薬 剤 名	使 用 時 期	使用方法	10a 当たり散布量	使用回数
1年生 イネ科雑草 (双メノカビラを除く)	ポルト フロアブル	イネ科雑草3～10葉期 (収穫30日前まで)	雑草茎葉 散布	薬量200～300m (水100で希釈)	1回
1年生 広葉雑草 (イネ科を除く)	大豆バサグラン 液剤	大豆2葉期～開花前 (雑草6葉期・ 収穫45日前まで)	雑草茎葉 散布	薬量100～150m (水100で希釈)	1回
		大豆の生育期 (雑草6葉期・ 収穫45日前まで)	畦間雑草 茎葉散布	薬量300～500m (水100で希釈)	

## 難防除雑草（帰化雑草等）の防除について

前年、ほ場周辺（畦畔、農道等）で難防除雑草（帰化雑草等）の発生がみられた地域では、帰化雑草の早期発見に努め、発見したら直ちに防除（手取り、除草剤散布）しましょう。

ほ場内で発生がみられた場合、雑草の種類に応じて効果の高い除草剤を選定し、結実前の防除を徹底しましょう。

草種	茎葉処理剤				茎葉兼土壌処理剤
	選択性	非選択性			
	大豆 バサグラン液剤	バスタ 液剤	ザクサ 液剤	ラウンドアップ マックスロード	
帰化アサガオ類	(種間差あり)				(種間差あり)
ヒユ類	(種間差あり)				
イヌホオズキ類等	(種間差あり)				



写真 幼植物

上段：マルバルコウ  
下段左：イヌビユ  
下段右：イヌホオズキ

注1) :効果が高い、 :効果が劣る

注2)登録内容(適用、使用方法等)を確認して使用する。また、非選択性茎葉処理除草剤は、周りの作物にかからないように散布する。